

マイナビ進学会員

「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」報告書

マイナビ進学総合研究所は、2022年3月卒業の高校生に対し「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」を実施いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

【調査概要】

- 調査名： 高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査（2022年3月）
- 調査方法： メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間： 2022年3月28日～2022年4月3日
- 調査対象者： 2022年3月に卒業予定の高校3年生（マイナビ進学会員登録者）
- 有効回答者数： 3,107名（WEB調査）
（進路決定先…大学：2,201名／短期大学：95名／専門学校：346名／
その他：375名）

調査結果トピックス

・志望校選びの際「重視するポイント」は、前年同様「学べる内容」が上位に

大学・専門学校への進学者は「学べる内容」が、短期大学への進学者は「取れる資格」がトップ項目であった。

・進学する学校への資料請求時期は「3年生4～6月」、来校・出願決定時期は「3年生7～9月」が最多割合

進学する学校区分（大学、短期大学、専門学校）を問わず上記時期での行動が最多割合であった。

・「3年生7～9月」の「来校」が進学先を決める大きな要因

進学先の学校とそれ以外の検討校との間で、来校の有無に大きな違いが見られたのが「3年生7～9月」であった。

・進路選択の満足度が「80点以上」と回答した割合は6割程度

入試区分別にみると、「総合型選抜」での進学者が、満足度「80点以上」と回答した割合が最も高かった。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等については下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 教育支援統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

INDEX

1 学校選びについて…… P3

- ・志望校選びの際重視するポイント
- ・学校選びの際の候補校数と受験した学校数

2 進学先の学校について…… P3

- ・その学校を進学先として選んだ理由
- ・進学先の学部・学科系統／分野系統
- ・学部学科選びの理由
- ・進学する学校を知った時期（月別/累計）
- ・進学する学校へ資料請求をした時期
- ・進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期
- ・進学する学校へ出願を決めた時期（月別/累計）

3 進学先以外の進学候補学校について…… P6

- ・学校のことを知った時期（初期認知）
- ・学校へ資料請求をした時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへの参加時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合
- ・出願を決定した時期
- ・WEB 出願をした割合

4 その他（満足度と願書請求手段）…… P9

- ・進路選択の満足度
- ・進学先の願書を取り寄せた手段

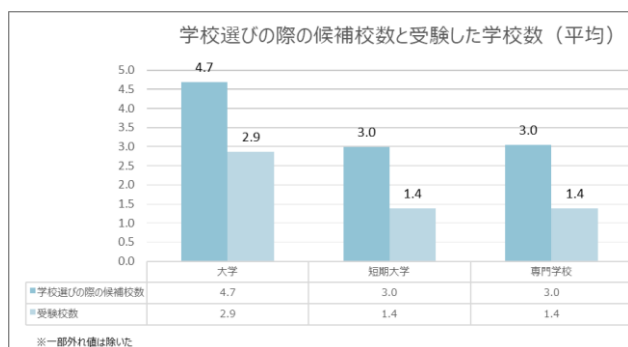
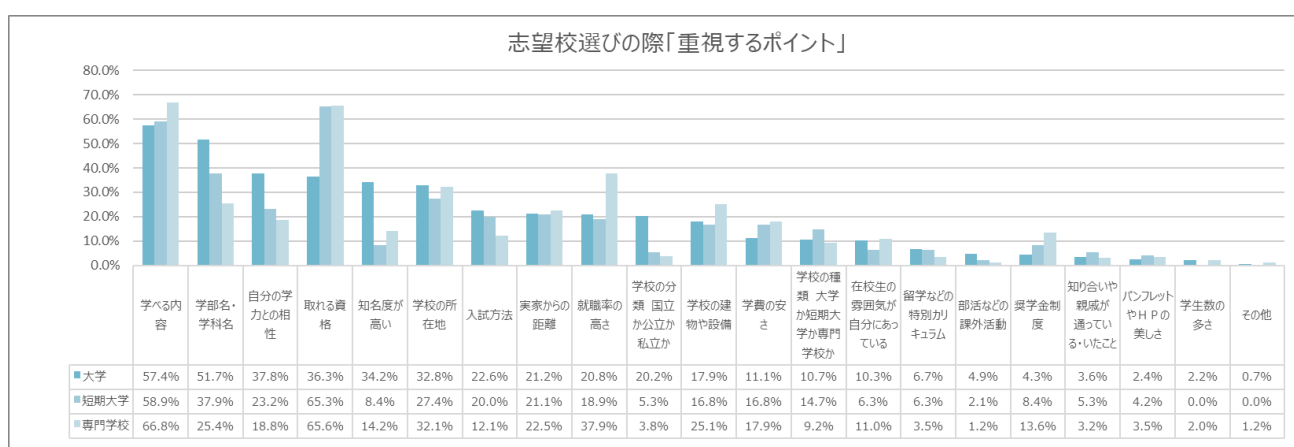
APPENDIX…… P10

- ・志望校選びの際「重視するポイント」（進路分野別）
- ・その学校を進学先として選んだ理由（進路分野別）

1 学校選びについて

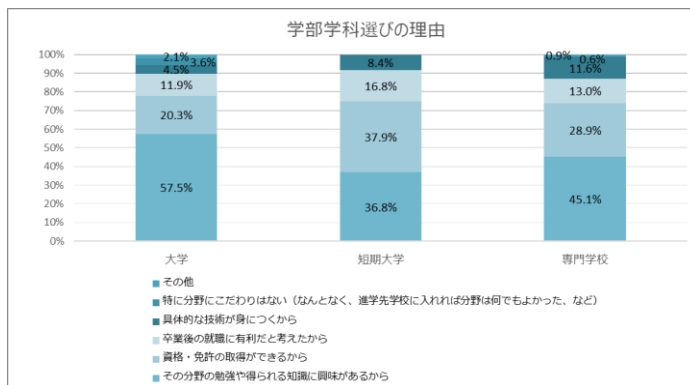
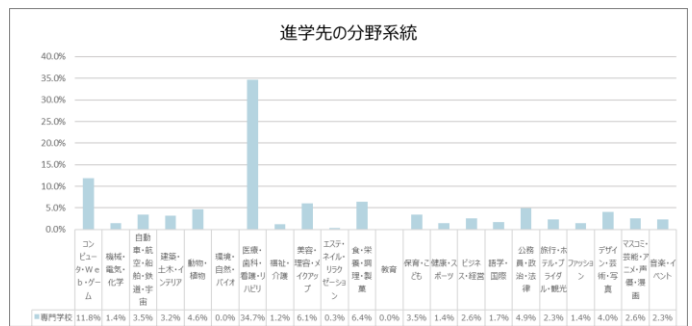
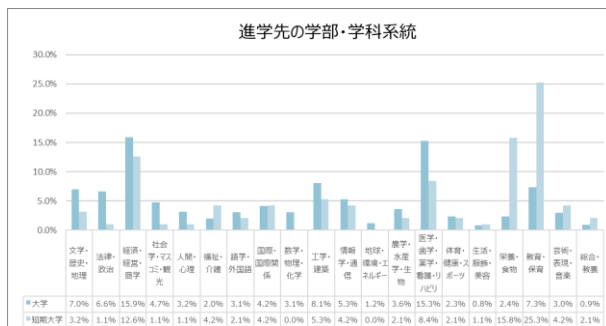
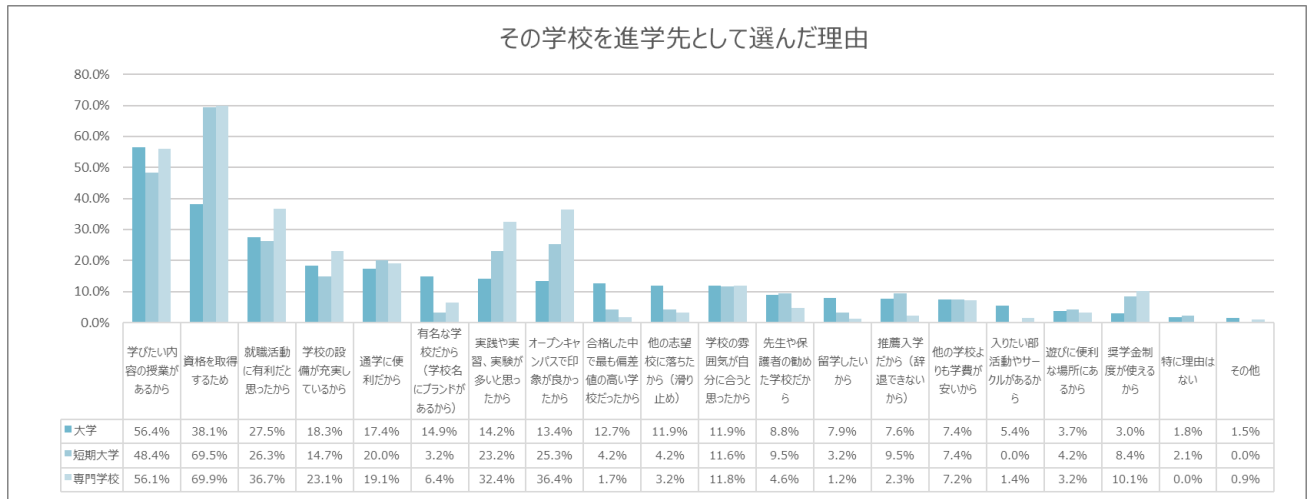
志望校選びの際「重視するポイント」について聞くと、大学・専門学校では「学べる内容」(大学 57.4%、専門学校 66.8%)が前年同様トップとなった。短期大学では前年トップは「学べる内容」だったが、今年は「取れる資格」(65.3%)がトップの項目となった。

学校選びの際の候補校数と受験した学校数の平均を算出すると、大学では約 4.7 校の候補から約 2.9 校を受験し、短期大学・専門学校では約 3 校の候補から約 1.4 校を受験したという結果となった。前年の受験校数は大学約 2.8 校、短期大学・専門学校は約 1.5 校であり、前年と今年とでほとんど差異は見られなかった。

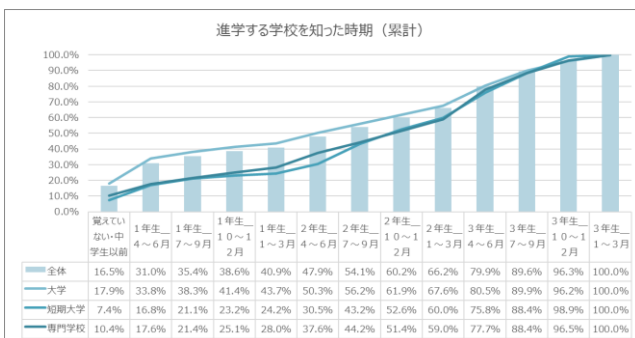
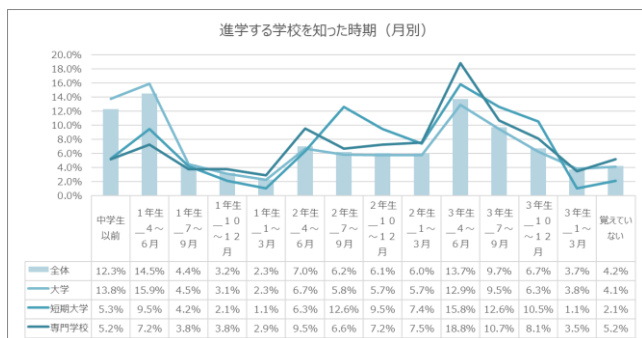


2 進学先の学校について

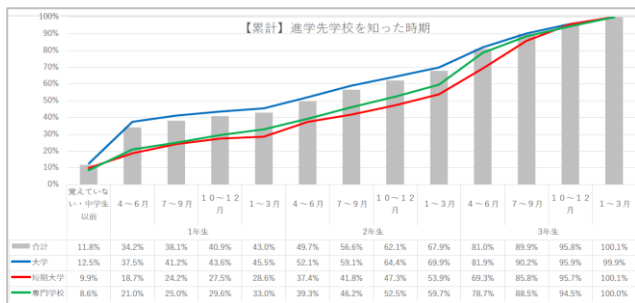
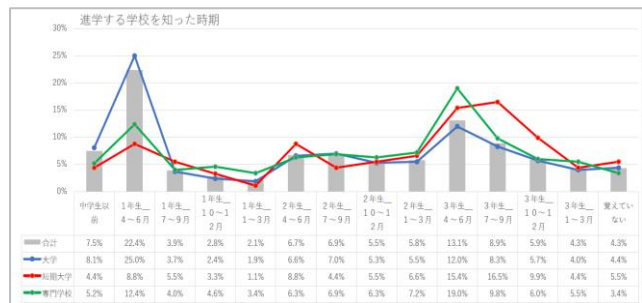
進学先としてその学校を選んだ理由を聞くと、「学びたい内容の授業があるから」「資格を取得するため」といった、志望校選びの際「重視するポイント」と似た項目が上位に並んだ。学部学科選びにおいても、同様に「その分野の勉強や得られる知識に興味があるから」が学校区分を問わずトップとなった。



次に、進学先として選んだ学校に対する「認知時期・検討時期」を調査した。初期認知が最も多かった時期は、大学は「1年生 4～6月」(15.9%)、短期大学・専門学校は「3年生 4～6月」(短期大学 15.8%、専門学校 18.8%)となり、大学と短期大学・専門学校とで両極端な結果が得られた。尚、この傾向（月別の山谷）は前年と概ね変わらない。認知累計においては、前年と比較して今年の方がやや遅い認知の傾向が見られた。

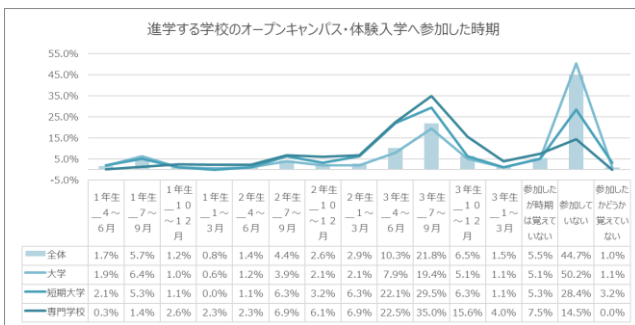
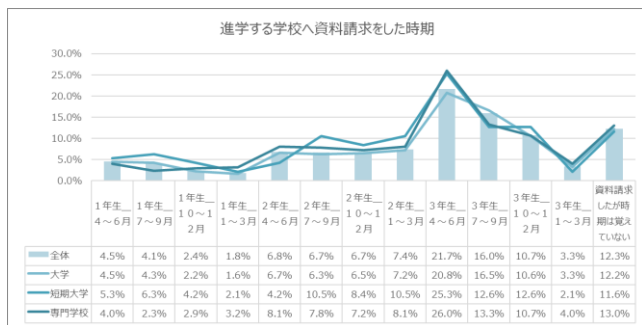


▼下記、2021年3月調査資料より掲載

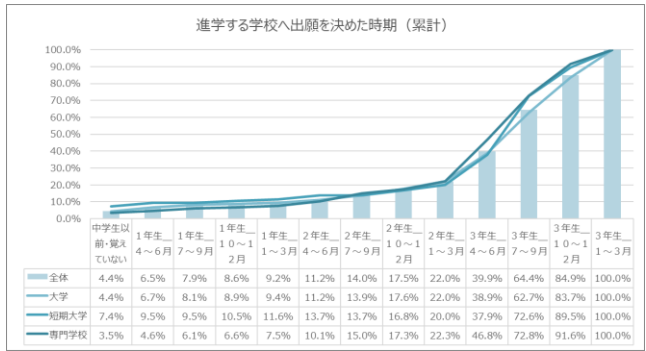
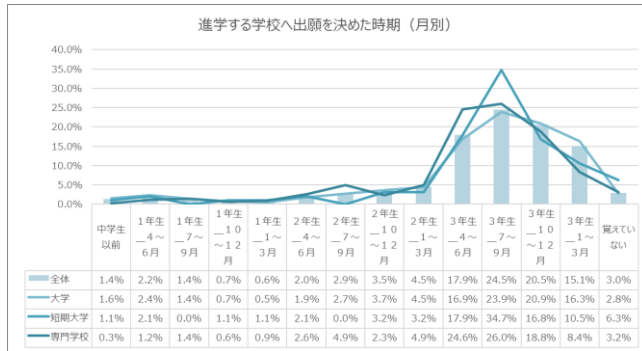


進学する学校へ資料請求をした時期については、3年生 4~6月(全体 21.7%)が最も高い割合となった。また、全体を通して学校区分による資料請求時期の違いは見られなかった。

オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期については、学校区分を問わず3年生 7~9月(全体 21.8%)が最も高い割合となった。ただし短期大学・専門学校と比較し、大学の参加割合は低かった。



進学する学校へ出願を決めた時期については、3年生 7~9月(全体 24.5%)が最も高い割合となった。同時期の学校区分別の累計出願決定率は大学 62.7%、短期大学 72.6%、専門学校 72.8%で、専門学校、短期大学、大学の順に出願校決定が早い傾向にあることがわかる。

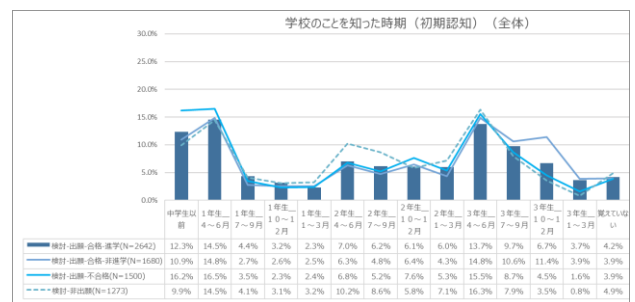
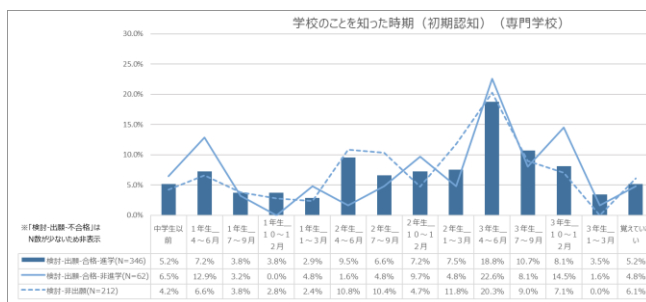
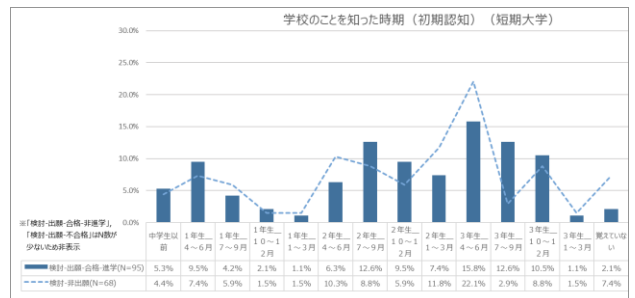
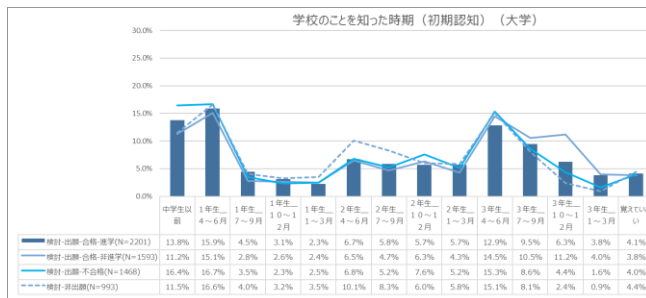


3 進学先以外の進学候補学校について

進学先以外の進学候補学校について、その「認知時期・検討時期」を調査した。さらにその結果を、進学候補学校の学校区分ごと（大学・短期大学・専門学校）および出願・合格・進学状況ごと（※）にわけて集計した。

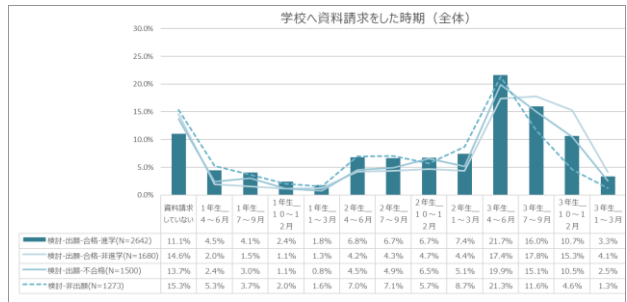
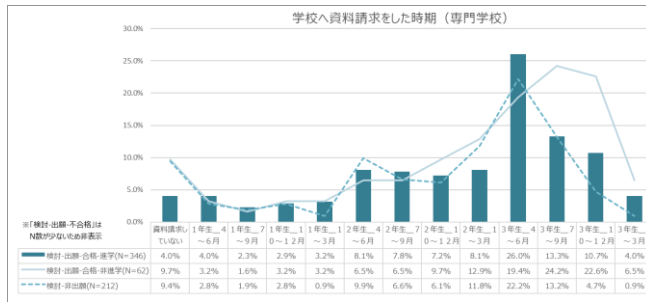
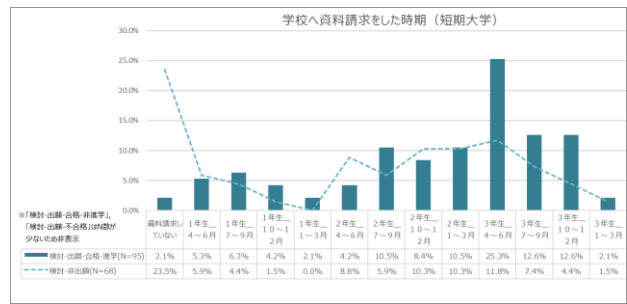
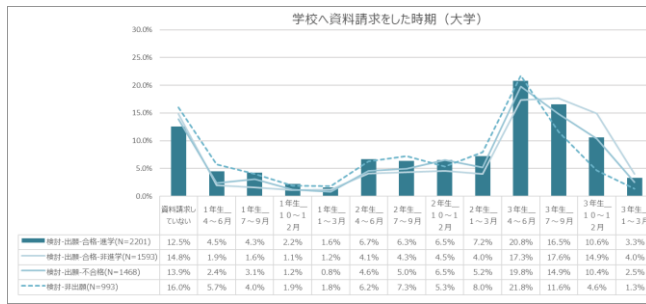
※「検討・出願・合格し、進学した学校」、「検討・出願・合格し、進学しなかった学校」、「検討・出願し、合格しなかった学校」、「検討し、出願しなかった学校」の4つに分類した。

学校のことを知った時期（初期認知）



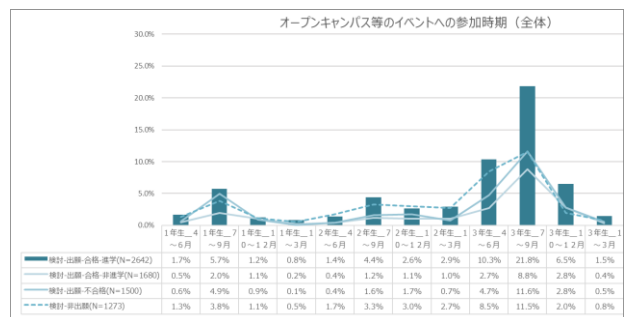
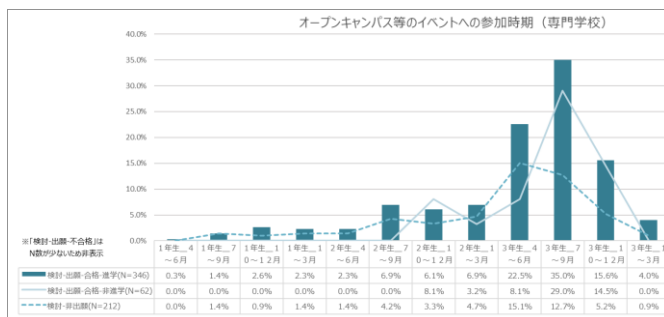
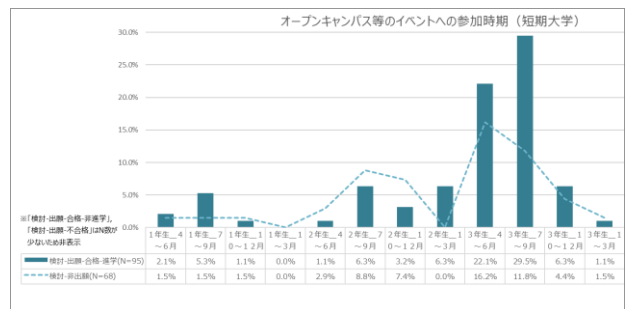
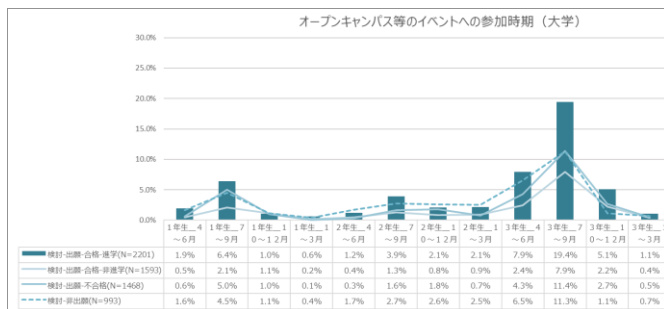
1年生4月～3年生6月までの「資料請求」については、時期によって「進学した学校」とそれ以外の間に大きな差が見られなかった。3年生の春頃までは、「資料請求の早さ」が「出願／非出願」や「進学／非進学」に及ぼす単純な影響は少ないものと考えられる。

学校へ資料請求をした時期

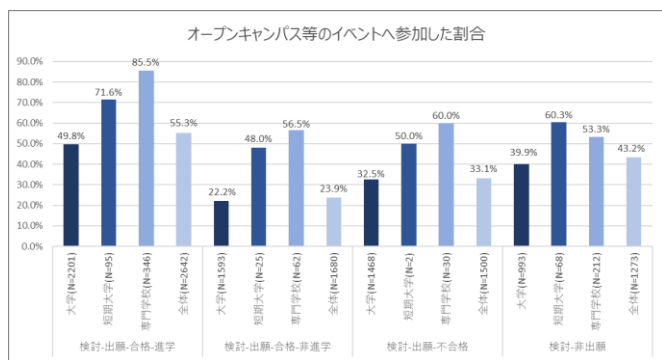


オープンキャンパス等のイベントへの参加時期は、進学先区分を問わず「3年生 7~9月」において「検出・出願・合格」、進学した学校」とそれ以外とで大きな差が見られた。

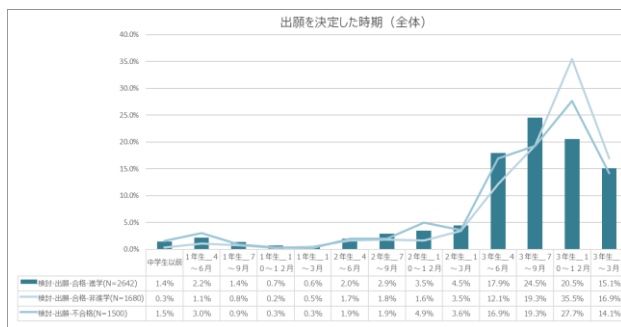
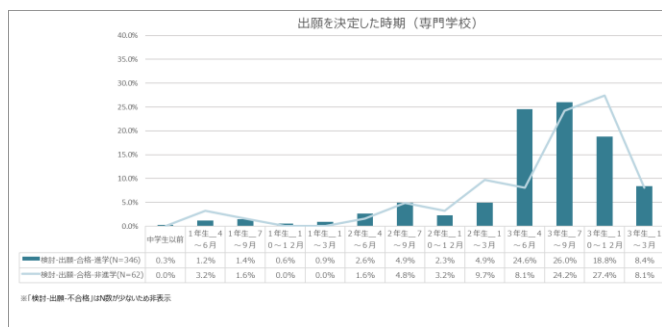
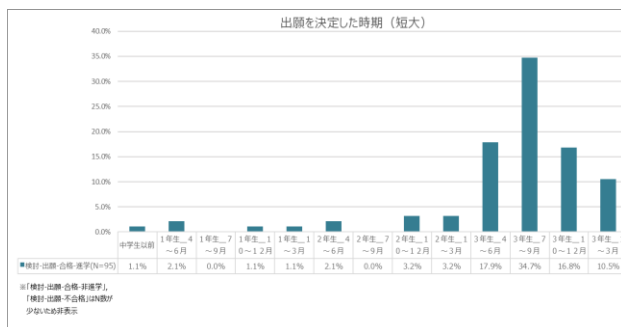
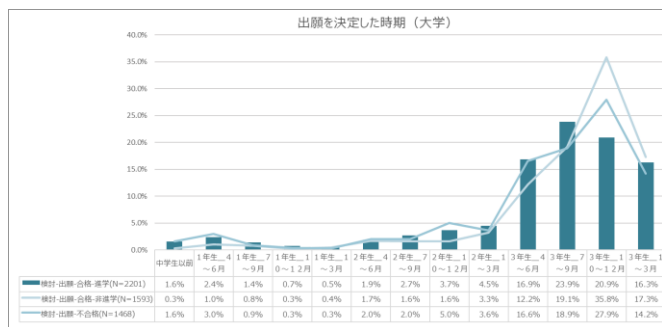
オープンキャンパス等のイベントへの参加時期



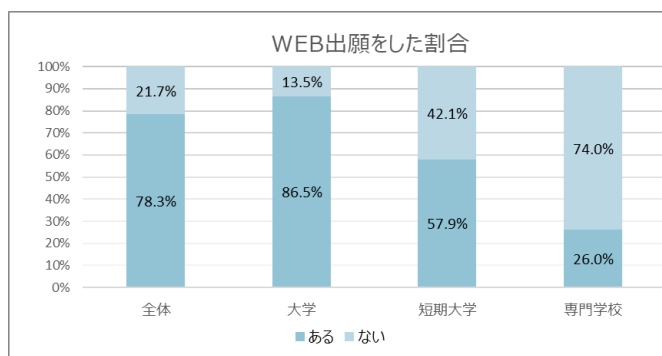
オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合



出願を決定した時期

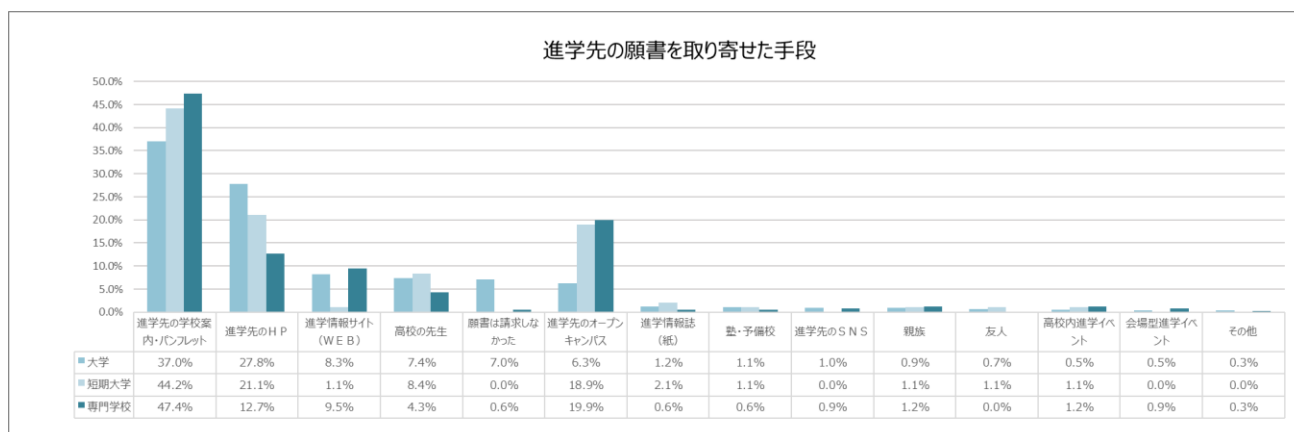
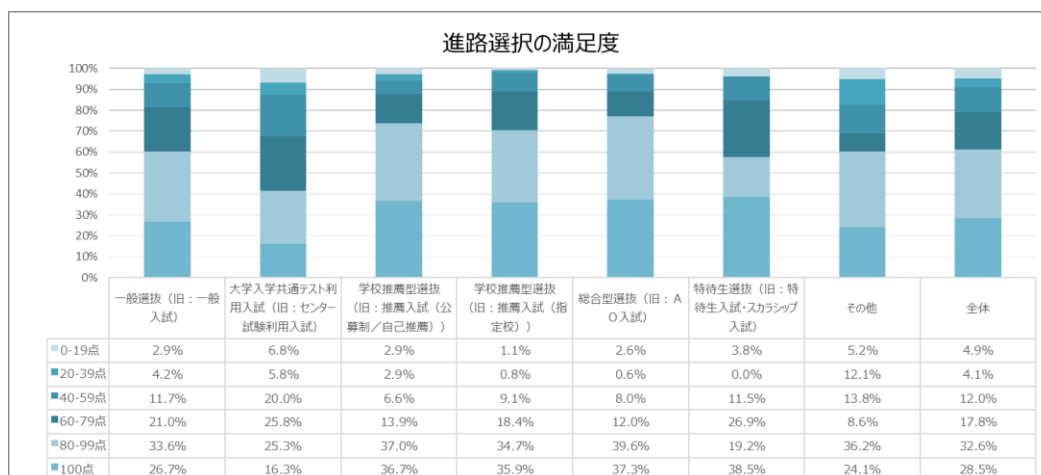


WEB 出願をした割合



4 その他（満足度と願書請求手段）

進路選択の満足度について入試区分別に集計したところ、学校推薦型選抜・総合型選抜では「満足度 80 点以上」と回答した割合が 70%を超えいずれも前年の水準を上回った。進学先の願書を取り寄せた手段については、学校区分を問わず「進学先の学校案内・パンフレット」の回答割合が高い傾向となった。



APPENDIX

「志望校選びの際重視するポイント」および「その学校を進学先として選んだ理由」を、進路分野別に集計した。分野間で回答割合に特に差があった項目を、抜粋して掲載する。（回答数が少ない分野は非表示としている。）

